



ルー  
テル

# 藤が丘だより

発行 月報委員会

発行日 2020年4月12日

No. 71

わたしは復活であり、命である。  
わたしを信じる者は、死んでも生きる。  
ヨハネによる福音書 11章25節



礼拝献花より

## 御言葉に生きる

御言葉はあなたのごく近くにあり、あなたの口と心にあるのだから、それを行うことができる。  
申命記30章14節

ルーター派キリスト教会 日本福音ルーテル藤が丘教会 牧師 佐藤和宏  
〒227-0043 横浜市青葉区藤が丘 2-31-21 tel 045-973-2729/ fax 045-439-7009  
URL:<https://www.jelc-fujigaoka.org/> mailto: [fujigaoka@jelc.or.jp](mailto:fujigaoka@jelc.or.jp)



## シリーズ説教

### 『だが』と生きる』

牧師 佐藤和宏

マタイ27章11節〜54節

さて聖書を開くと、十字架にあげられたキリストが残された言葉を見いだすことができます。46節で言われている「エリ、エリ、レマ、サバクタニ」になります。「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか。」これまで神の御心に従順であった神の子イエスであり、またそれゆえに沈黙を保ったままの主イエスでしたが、いよいよその死が迫っていることを悟って、それでも何も起こらない現実、「見捨てられた」と感じたというのでしようか。そうではありません。この主イエスの言葉は、詩編22編の冒頭の言葉になります。しかしそれは同時に、私たちの声なのです。「わたしの神よ、わたしの神よ、なぜわたしをお見捨てになるのか。」「なぜわたしを遠く離れ、救おうとせず、呻きも言葉も聞いてくださらないのか。わたしの神よ、昼は、呼び求めても答えてくださらない。夜も、黙ることをお許しにならない

い。』このように苦難の中から、思うようにならない現実の中から主に「つぶやいている私たちがいるのです。そして、これが私たちの罪なのです。つまり、十字架の上で主イエスが口にしたのは、私たちの罪についてなのです。しかし、その罪を裁くのではなく、その罪に近づき、その罪に触れてくださり、その罪が赦された。それが十字架の出来事なのです。

詩編22編をさらに読み進めると、次のようにあります。「わたしは虫けら、とても人とはいえない。人間の屑、民の恥。わたしを見る人は皆、わたしを嘲笑い、唇を突き出し、頭を振る。『主に頼んで救ってもらいがよい。主が愛しておられるなら、助けてくださるだろう』とありますし、また「骨が数えられる程になったわたしのからだを、彼らはさらしものにして眺め、わたしの着物を分け、衣を取ろうとしてくじを引く。」とあります。これらは、まさにイエスが十字架につけられた場面です。今、その嘲りと苦しみの中で、私たちの罪を一身に受けられるほど、私たちが罪をご自分のものとされた。これが、詩編22編にある言葉に表され

ているのです。／主イエスは十字架の上で、「エリ、エリ、レマ、サバクタニ」「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか。」と言われました。それは、神に従順であった者が苦難の中にあつて、絶望しているかのような印象を与えます。／しかし、詩編22編を読み進めてまいりますと、4節で大きく転換してまいります。苦難の中にある者の口から出る言葉が、絶望、嘆きというのではなく、実は強い信頼であることが示されているのです。具体的にみてまいりましょう。「わたしの神よ、わたしの神よ、なぜわたしをお見捨てになるのか」と、十字架の上で主イエスが言われた言葉で始まった詩編22編は、3節まで「呼び求めても答えてくださらない」など、神に見捨てられたように感じられ、嘆いていることがわかります。しかし4節で「だがあなたは、聖所にいまし、イスラエルの賛美を受ける方。わたしたちの先祖はあなたに依り頼み、依り頼んで、救われて来た」と歌っているのです。現在、自らが置かれている状況は、苦難の口中であり、主なる神から見捨てられたかのように孤立し、救われる見込みもないと思えるのです。』だ

が」思い返してみれば、「先祖たちはあなたに依り頼んで、救われてきた」「依り頼んで、裏切られたことはない」と、固い信頼を明らかにしているのです。私たちが日々、思うようにならない現実や困難の中にあつて、見捨てられたとつぶやく私たちの罪、その罪の中にある私たちに主が近づかれ、触れられたのは、私たちが罪の中から、この神へのまっただき信頼へと導くためなのです。

私たちは今、大きな困難の中に置かれています。先の見通しが立たず、世界各地が危機的な状況に追い込まれています。不安と恐れの中で「なぜお見捨てになるのか」と叫ばずにはいられません。しかし、十字架の主は、そのような私たちに近づき、そのような私たちの痛みに触れ、「だが」というまっただき信頼へと導かれるのです。私たちは今、主の受難の日曜日にあつて、どのような状況に置かれても、環境の変化に心奪われることなく、そのような私たちに近づき、触れ、いやすために十字架の死を遂げられた主イエス・キリストにあつて、「だが」と、まっただき信頼に生きることができるとです。

(主の受難主日)



## ローマ、バルセロナ旅行記②

### 上○○美

正月1日はスペインを代表する建築家ガウディーの『サグラダ・ファミリア聖堂』を訪れました。

世界中に多くの大聖堂があり、その幾つかには訪れましたが、『サグラダ・ファミリア大聖堂』はひと味違い、一生忘れ得ぬ大聖堂となりました。

聖堂には、生誕・受難・栄光の3



つのサファード（「正面」という意味）があり、私たちは受難のサファードから入りました。外壁には受難の物語の様々な場面が数々の彫刻で表現されていました。

最初に私の目に飛び込んできたのは、「ペテロの否認」の場面です。布をまとって四角い苦渋に満ちた表情のペテロさん。聖書の場面の細部を人数や象徴物等で端的に一目で伝えるように造られている彫刻は興味深く、一つひとつ見ていくときっと

何日もかかるだろうほどのものでした。

中に入ると目に眩いばかりのステンドグラスの壁面に覆われていて、日差しを受けて柔らかな虹色に輝く空間の中にと、神様の豊かな恵みの中にいることを強く感じる空間でした。内部の柱は白い木の幹のようになっていて、上の方は枝分かれして森の中にあるような構造でした。（右下写真）

教会の中心にある聖壇の上部には



その下方背後にパイプオルガンがあり、見学している丁度その時間にバッハの「フーガ」と「主よ人の望みの喜びよ」の演奏が流されました。最高に幸せな瞬間でした。

『サグラダ・ファミリア』は教会堂ですが、普段は観光客に開放されています。でも、聖壇の地下に信徒の礼拝室があり、実際そこで礼拝されている姿がほんの隠れた一角から見えました。

外に出て仰ぎ見る聖堂は、建物そのものが神の栄光を物語る斬新な大聖堂でした。（了）

## ニューヨークの状況

犬〇〇一

大変ご無沙汰いたしております、犬飼です。

我々家族の事を気にかけて頂きありがとうございます。

また、お説教要旨もありがとうございまして。ゆつくりと時間をかけて拝読させて頂きました。

日本のニュースでも聞いていらっしやる通り、ニューヨーク（以下NY）は大変な状況になっています。

ご存じの事と思いますが、月報にお書きになる際の参考になりますように、簡単にNYの地理をおさらいしますと、NY市はマンハッタン（地図ピンク色）、ブルロンクス（同緑色）、ブルックリン（同オレンジ色）、クイーンズ（同黄緑色）、スタテンアイランド（同紫色）の5行政区（5 Boroughs）から構成されています。

NY州10万2千人の陽性感染者の

うち、5万7千人がこの狭い5行政区の感染者です。（私が住んでいるNassau County、黄色は1万2千人）

米国はもともと病院数が少なく、入院期間も短いので、千人当たりの病床数が日本の10.5に対し2.8しかありません。

そのため、不足する病床をカバーするべく、マンハッタンの展示会場、NY州立大学のキャンパス、ついにはセントラルパークやテニスUSオープン会場まで仮設病床を作る事態になっています。

ただ、器は用意できても、医療従事者を急激に増やせるわけではなく、例えば緊急電話911（日本の

119番）も症状が軽い人はかけないで欲しい、と呼びかけているほどです。

このような状況下で感心するのは州政府の対応で、感染を防ぐ事、感染した人の手当てをする事、の2つの側面に行政の対応を集中しています。

感染者手当てについては前出の仮設病院、米国海軍の病院船など着々と手を打っており、感染拡大防止は、通勤する人を減らして欲しいと、従業員の75%、50%、25%と感染拡大に合わせて段階的に削減を要請し、最後には0%。しかも必要最小限のサービス以外はすべてクローズ（一時閉鎖）させるという手を打っています。私の勤務先も3月下旬から在宅勤務になり、パソコンとらめっこする毎日を過ごしています。

行政は兎に角人と人を接触させないよう、出来るだけ家に留まり、外出を避けるよう呼び掛けていますが、思わぬ副産物として犯罪率が25%下がった一方で、家庭内暴力の相談件数が急増したのはアメリカから

しいなあと思えるところです。

外出時にはソーシヤル ディスタニング（感染を防ぐために物理的に距離をあけること）として6フィート（約1.9メートル）以上離れるよう指導しており、病院のお見舞いも人数を制限し、病院外に1メートル間隔の待ち行列が出来ているようです。

我が家はNY市隣のNassau County（上記地図の黄色の部分）、その中でも東側のSuffolk Countyに近い、一軒家が多い郊外なので、NY市のような光景は目にしません。公園やテニスコートは使えないよう鍵がかかり、スーパーも入店人数制限で1.9メートル間隔の待ち行列が出来、また、街中の交通量も激減しています。その代わり、気分転換に車道を散歩や自転車で走る家族の姿を多く見かけられるようになりました。

このようなわけでNYはさながら戦時中のような厳戒態勢なのです

次のページへ続く



が、住民にピリピリとした緊張感はなく、普段は周りに冷たく自分の事しか考えないと言われるNY住民も、心なしかお互いを気遣っているような印象を受けます。

日本のニュースから首都圏で患者数が増えてきたと聞く一方で、政府・

### ●田〇〇子さんを偲んで

山〇〇子

田〇さんが亡くなる前日に施設に訪問した時、最初は目を閉じていらっしやいましたが、私が、思わず「なかなか来れなくてごめんなさいー」と伝えると、静かに目を開けてくださいました。そして、田〇さんは、呼吸器の中で、声にはならなくけれど口を動かしてはじめました。田〇さんと二人、静かに心の対話ができたとと思います。いろいろな思い、感謝の思いを伝え、30分ぐらいたった頃でしょうか、田〇さんはまた眠られました。それは、私にとって、私なりのお別れができたひと時と思えてなりません。

私が最初に奏楽に参加させていた

行政の対応がこちらに比べて遅く、後手に回っている印象を受けています。そうなるとう自分の身は自分で守るしかなく、先生も藤が丘教会の皆様も是非お気をつけてお過ごしください。この難しい時期を、神様の恵みと愛に守られてお過ごしになられますようお祈り致しております。

だいたいは、大先輩の安〇さんと田〇さん、それに〇山〇子さん、〇野〇佳子さん、そして今は亡き長〇〇子さんがメンバーでした。

はじめた頃は、牧師は重富先生で、奏楽もドキドキで失敗ばかりでした。それでも、田〇さん、安〇さんをはじめとするメンバーはいつも優しく、特に、田〇〇子さんには、私の拙い奏楽も温かく見守っていただきました。

「田〇さん、今までお世話になって、本当にありがとうございました。奏楽でも大変お世話になり、おしゃべりも楽しかったです。

どうぞ、御国でも、神様の栄光にあずかり、永遠の安らぎのうちに大好きなオルガンを奏でてくださいますように！」

## 新型コロナウイルス

### への教会の対応

#### ●はじめに

いかがお過ごしでしょうか。多くの時間をご自宅で過ごしておられることと思います。皆様とご家族、そしてすべての人々の健康が守られますように。

#### ●礼拝及び諸集会の休止

教会では、感染拡大防止のため、諸集会については、3月8日以降、礼拝については、3月29日以降、休止をし、4月12日現在も継続されています。先の見通しもたつていません。礼拝を休止することは、苦渋の決断でした。教会が礼拝を休止することは、歴史をかえりみても戦争などを理由にした一時期しかありません。誰もが初めて体験する苦難の中にあると言えるでしょう。

そのような困難の中にありますから、私たち教会は、たとえ集まることができなくとも、御言葉に聞き、語り続けたいと思っています。

礼拝は、無会衆の状態でライブ中継を継続しています。インターネットに接続できる環境にある方は、

フェイスブックで「ルーテル藤が丘教会」を探してください。あるいは教会のウェブサイト（下の方になります）から見つけることもできます。

そうは言っても、インターネットに接続できない方が、多いのが現状かもしれません。教会では、情報格差を防ぐために、2週に一度のペースで、メールが使える人にはメールにて（経費節減につながります。ご理解ください）、そうでない方には紙媒体にて印刷物を発送しています。

#### ●毎日曜日10時半に共に礼拝を！

しかし、資料があれば十分であるというわけでは決まてありません。そこで、皆さんに提案したいと思えます。しばらく顔を合わせることは難しいかもしれませんが、ですから、毎週日曜日の午前10時半に、共に礼拝のときを過ごしましょう。ライブ中継を視聴できる方は、そちらをご覧ください。そうでない方もお送りする主日礼拝のための式文に沿って、同じ時間に礼拝を共にいたしましょう。体は離れていても、主キリストにあつて、私たちの心は一つとされるときを過ごしましょう。そし

て、苦難の中にあるすべての人々のために、祈る教会であり続けましょう。礼拝は休止していますが、このようにして、共に礼拝を共有することによって、私たちは新型コロナウイルスによる支配から解放されるのです。

### ● ツイッターをはじめました。

フェイスブックという媒体を通して、礼拝中継や教会行事の案内などを発信しています。それに加えて、4月よりツイッターという媒体を利用し始めました。フェイスブックは、基本的に知り合いに情報が届けられるのですが、ツイッターは広く、情報が届けられる可能性を秘めています。今回、このツイッターを使用し始めたのは、このように全世界的な苦難にあつて、私たち教会が与えられている務めは、いつそう御言葉を伝えていくことだと思ふからです。「御言葉を宣べ伝えなさい。折が良くて悪くても励みなさい。」(テモテ二4章2節)とある通りです。苦難の中に誰もが置かれている現在、それだからこそ、御言葉を届ける必要があるのだと思います。おそらく、未だ広く、人の目にとまっていけるわけではないと思われませんが、

「折が良くても悪くても」励みたいと思つていきます。これが、私たちの年間主題「御言葉に生きる」の一つの実践の方法ではないかと思ひます。このためにも、どうぞお祈りください。

### ● すべてが主の御手のうちにある

私はこのようにも考えています。新型コロナウイルスによる一連の困難が一日も早く終息することを願う一人でありますが、同時に思うのです。「すべては神の御手のうちにあるのだから、新型コロナウイルスもまた、神の御手のうちにある」という確信についてです。新型コロナウイルスに関する騒ぎに巻き込まれてもいるのですが、それでもしばし冷静になつて、その意味を考えることも、私たち信仰者の務めなのではないかと思ふのです。ヨブ記を開きますと、サタンがヨブに対し、繰り返して災難を降りかからせ、苦難のただ中に追いやるのですが、そのときサタンは、主なる神の許しを得た範囲で行動しているのです。主なる神の御手の中で、サタンはヨブに苦難を与えているのです。私たちは知らなければならぬの

でしょう。聖書はすべてが主の御手のうちにあると告げていることを。そして、すべてに神が与えられた意味があるということ。次の言葉を部分的にご紹介したいと思います。

### ● 「ありがとう、コロナウイルス」

「ありがとう。私たちが揺さぶつてくれたことに。私たちが思っているのよりずっと大きな何かに、私たちがまったく依存していることを、あなたは見せてくれた。」

ありがとう。私たちが今どんな豊かさの中に生きているのかに気づかせてくれて。ありあまる品物や自由

と健康をほしいままにし、私たちはそれを当たり前のよう思っていた。ありがとう。私たちを立ち止まらせてくれて。おかげで私たちは忙しさの中にどんなに自分を失っていたのかを見る事ができた。その中で私たちは、一番基本的なことをないがしろにしてきた。

ありがとう。おかげで私たちは、あんなに大事なことを忘れていたあらゆる問題を忘れていたことができる。そして、何が本当に大事なことを見ることが出来る。」(リヤ・ソコル アーティスト、活動家)

### 今月の受洗記念日の皆さん

- 1日 ○池○美子姉 6日 ○野○江姉 ○瀬○恵姉
- 7日 プラ○ン花○姉 8日 吉○人兄
- 10日 ○田○子姉、小○子姉 11日 ○野○治先生
- 林○美姉、山○司兄、○井○姉、○林○和兄
- 12日 ○野○子姉、○野○兄 14日 ○田○兄、田○子姉、
- 山○姉、○木○子姉、○藤○理姉 15日 ○野○佳子姉、
- 上○秀兄、○橋○葉姉 20日 ○元○ゆり○姉
- 21日 ○井○子姉 22日 ○山○い○み姉
- 23日 ○井○姉

おめでとうございます。



「御言葉はあなたのごく近くにあり、あなたの口と心にあるのだから、それを行うことができる。」申命記30章14節